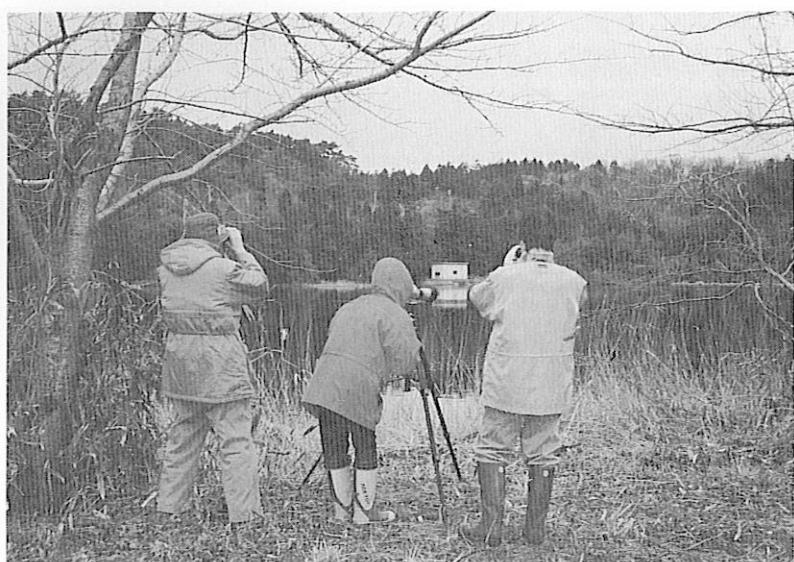


平成 10 年度

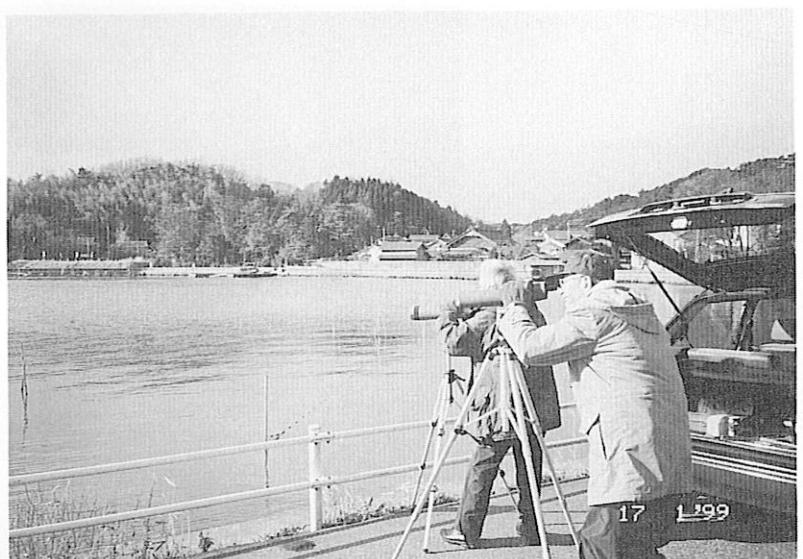
ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 11 年 2 月

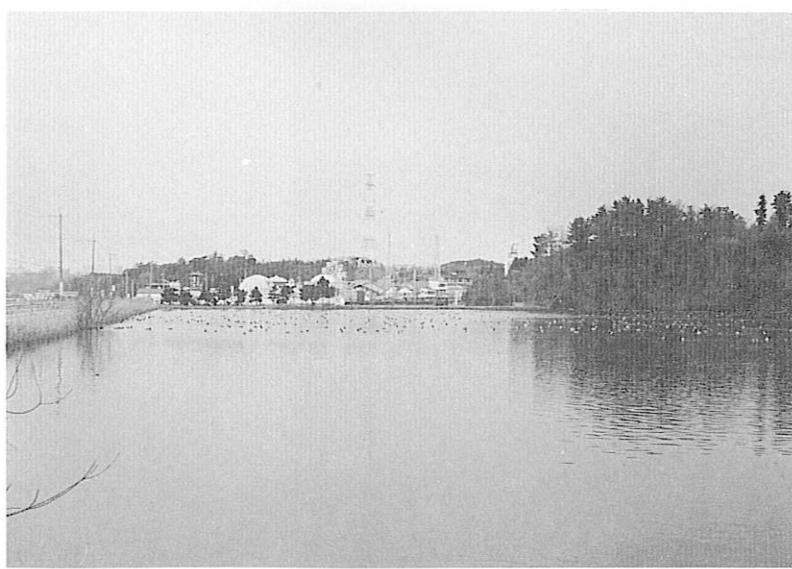
福 井 県



(1) 福良ヶ池



(2) 北潟湖



(3) 加戸大堤



(4) 九頭竜川河口域



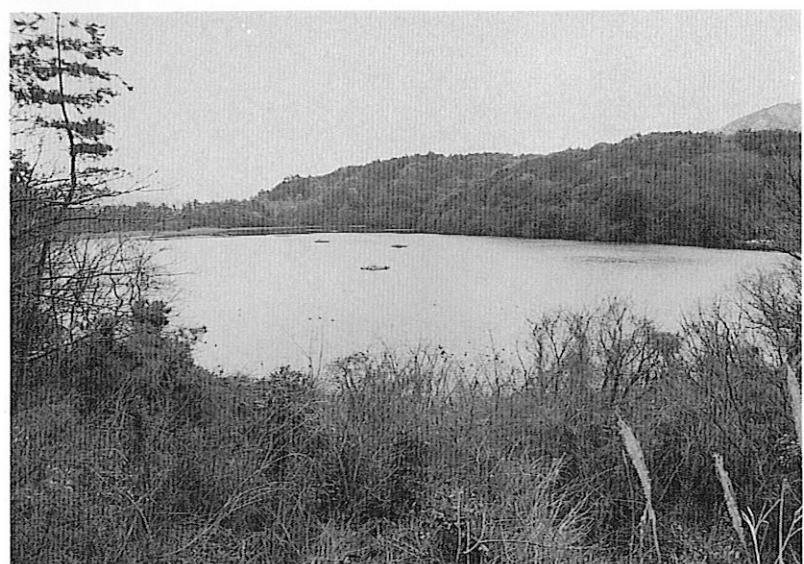
(5) 九頭竜川中流域



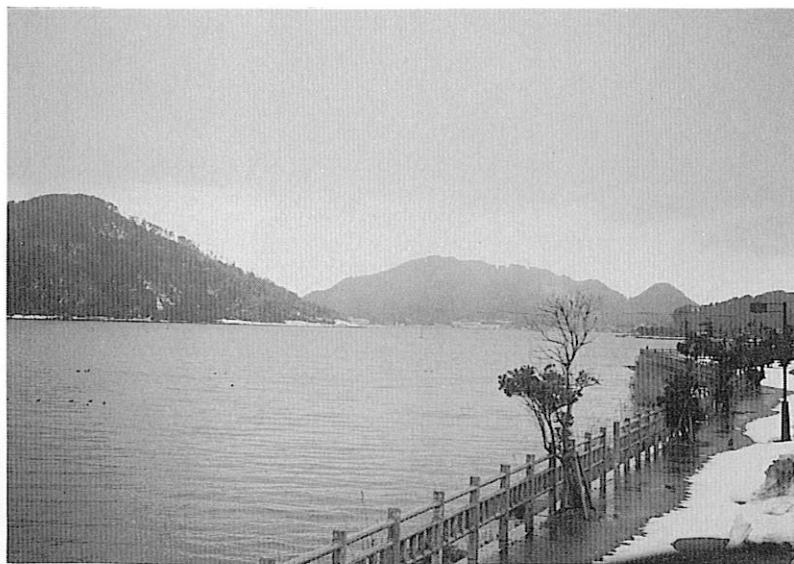
(6) 日野川



(7) 猪ヶ池



(8) 阿原ヶ池



(9) 久々子湖



(10) 菅 湖



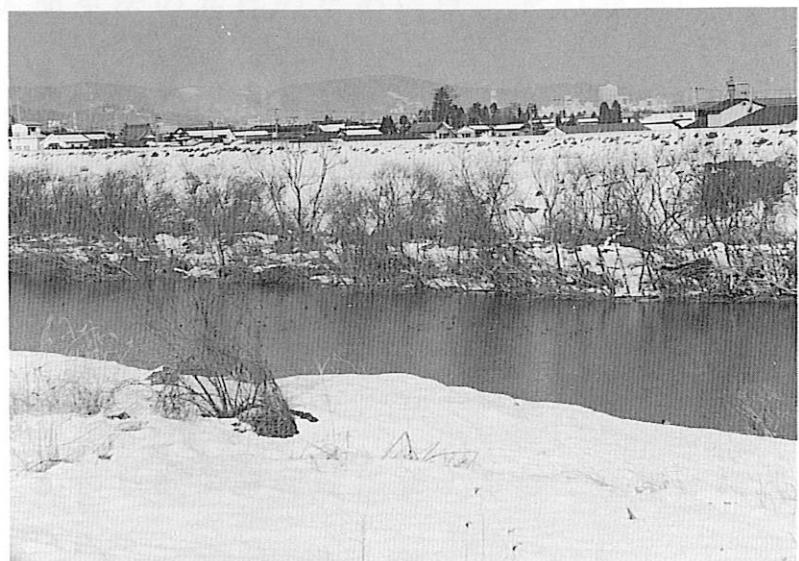
(11) 三方湖



(12) 水月湖



(13) 小浜湾



(14) 足羽川



(15) 福井新港

(16) 坂井平野



はじめに

ガンカモ科の鳥類は、主として河川、湖沼、海岸などの水域で生息している。これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現れるため、それに応じてガンカモ類の生息状況に影響ができるであろう。

また、ガンカモ科の多くの種は狩猟鳥として重要な位置を占め、野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわたる科学的な資料を必要とする。

そこで、ガンカモ科鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握するために調査分析を行った。

この調査は、福井県が日本野鳥の会福井県支部へ委託して実施したもので、調査結果が本県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、かつ鳥獣保護行政に資することができれば幸いである。

なお、報告書をまとめるにあたり、調査に協力をいただいた福井県支部会員各位に対して心からお礼申し上げる次第である。

1. 調査の概要

(1) 経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）の指示により、毎年1月15日を中心に取り組んでいるもので、今回は30回目である。昭和52年度からは、その業務の委託を請けた日本野鳥の会福井県支部が主要な調査業務として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥類保護行政に資するものとする。

(3) 調査実施者

福井県の委託を請けて、日本野鳥の会福井県支部が実施した。調査員はガンカモの識別能力があり、また過去にも調査経験のある会員70名で構成した。

(4) 調査日

坂井平野については平成11年1月10日、その他の調査地については平成11年1月17日に調査を実施した。

(5) 調査地

福井県から指定された湖沼、河川、内湾、平野部などの計16箇所で調査を実施した（第1図、第2図）。

(6) 調査及び分析

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類の種とその個体数を記録した。各調査地には、3～11名を配置し、双眼鏡（8～20倍）及び望遠鏡（20～40）で種を判定し、その個体数を計数器により記録した。また、面積の広い調査地においては無線機などを使用し、鳥の移動による重複カウントを防止した。

調査結果をもとに、種構成、個体数、生息状況などの変化について過去の調査記録と比較し分析を行った。

2. 調査の結果と考察

(1) 概要

調査の行われた1月10日は、気温が1°Cで曇りがちの天候であり、また、17日は、気温が1°C~12°Cで曇りもしくは晴れの天気となった。ともに、視界も良く順調に調査は行われた。

計16箇所の調査地で、計20種27,463羽が記録された。昨年度に比較して、種数で1種が減り、個体数では3,423羽が増加した。個体数が増加した原因として、1月上旬の寒波により北方からのガンカモ類の渡来が多かったことが考えられる。

計3種1,633羽のガン類と計17種25,830羽のカモ類が記録され、ハクチョウ類は記録されなかった。

昨年度と比べ、個体数が大幅に増加した種は、コガモ、マガモ、カルガモなどであり、逆に減少した種はヒドリガモ、キンクロハジロなどであった。

また、優占度の高かった種は、マガモ(56.6%)、コガモ(12.0%)、カルガモ(10.9%)、ヒドリガモ(8.1%)、マガン(3.9%)などであった。逆に個体数の少なかった種はオシドリ(10羽)、トモエガモ(13羽)、ホオジロガモ(26羽)、ヨシガモ(27羽)、ハシビロガモ(29羽)、カワアイサ(33羽)などであった(第3表)。

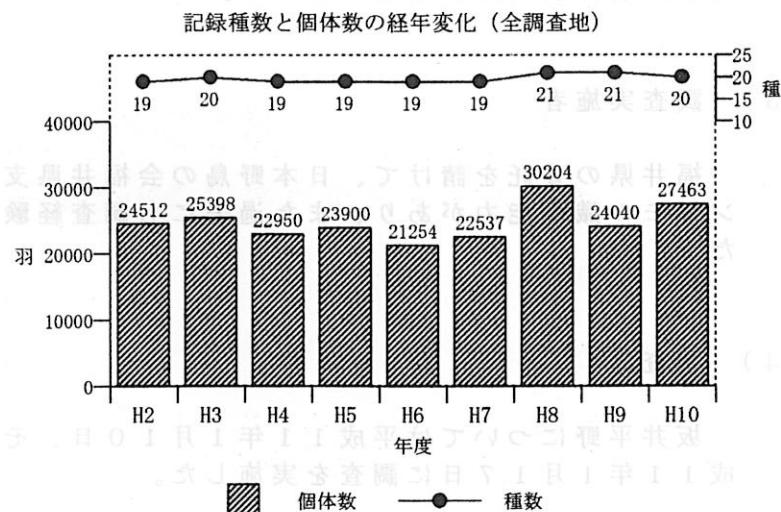
そして、昨年度に記録された、坂井平野のハクガンに似た体形で頭部のみ白色のアオハクガンに似た個体が4羽も観察され、また、ウミアイサも9年ぶりに記録された。

(2) 調査地別

種数では、菅湖と日野川で最も多い11種が記録され、次いで久々子湖、三方湖、足羽川での10種となつた(第1表)。昨年度に比べ種数が増加した調査地は7箇所あり、5種増加した福井新港、2種増加した北潟湖などであった。逆に減少したのは8箇所で、そのほとんどで2種減少していた。

個体数では、昨年度と同様、日野川で最も多く4,213羽が記録され、次いで菅湖の3,372羽、大堤の3,154羽、北潟湖の3,149羽の順となつた(第1表)。昨年度に比べ個体数が増加したのは10調査地で、九頭竜川中流域(1,447羽増)、福井新港(1,200羽増)、菅湖(1,181羽)などであった。逆に個体数が減少したのは6調査地で、そのうち日野川(2,129羽減)で大きく減少した。

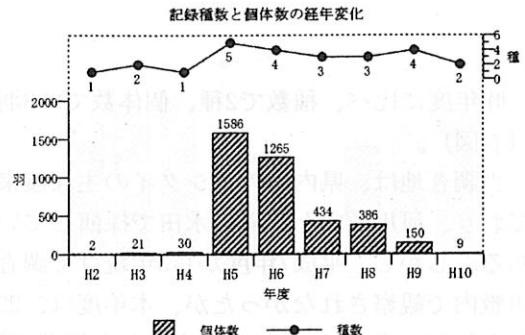
また、三方五湖全体では、昨年度は、記録個体数が大きく減少したが、本年度は、やや戻している。



【福良ヶ池】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で141羽減少した（右図）。この変化は、マガモが131羽減少したことによく起因している。

当調査地では、池の面積(3ha)が狭いためカモ類の警戒心が強く、その個体数は毎年安定していない。その状況を考慮しても、マガモの記録個体数は平成6年度をピークに減少傾向にあるほか、キンクロハジロも3年連続して記録されていない。



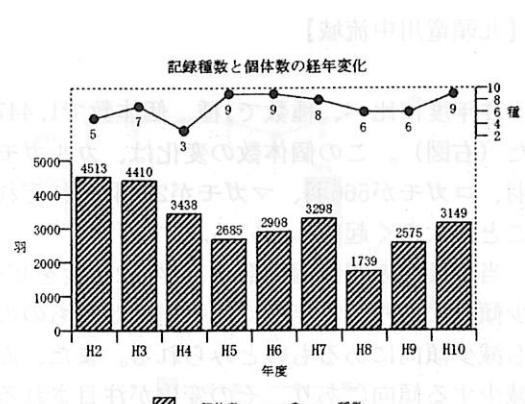
【北潟湖】

昨年度に比べ、種数で3種、個体数で574羽増加した（右図）。この個体数の変化は、カルガモが551羽増加したことに大きく起因している。

当調査地では、記録種数および個体数が減少傾向にあったが、昨年度から増加に転じている。

種別にみると、ヒドリガモの個体数が、平成7年度以降は安定して記録されている。また、ミコアイサが10羽、ヨシガモが18羽記録された。

なお、マガンが20羽記録されたが、全て上空通過の個体であった。



【加戸大堤】

昨年度に比べ、種数は同じで、個体数で720羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガモが524羽、コガモが193羽増加したことに大きく起因している。

当調査地では、北潟湖同様、記録種数および個体数が減少傾向にあったが、昨年度から増加に転じている。

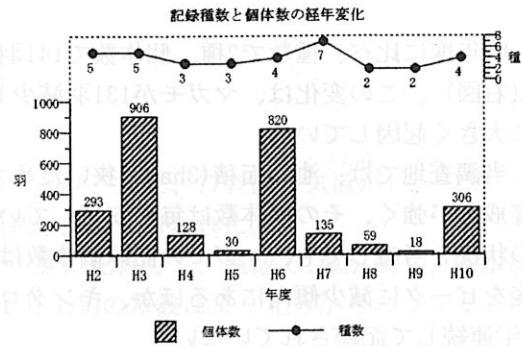
また、当調査地は、9haとさほど大きくない池であるが、カモ類の密度は350羽/haと県内で最も高い所となっている。特にマガモについては、福良ヶ池および北潟湖が昨年度に比べ減少したが、当調査地では両調査地の減少以上の増加を示している。



【九頭竜川河口域】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で288羽増加した（右図）。

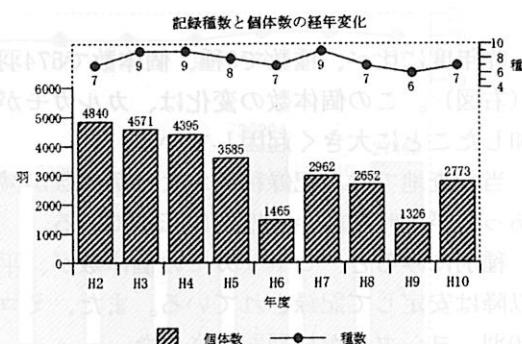
当調査地は、県内でのヒシクイの主な渡来地となっており、河川敷内と近隣の水田で採餌しているようである。しかし、平成7年度から3年続けて調査日には河川敷内で観察されなかったが、本年度は、297羽が記録された。また、1月10日に実施した坂井平野のガン類調査では、近隣の水田で250羽が確認されており、ダブルカウントされた可能性がある。このため、実質的には昨年度とほぼ同数が渡来しているものと考えられる。



【九頭竜川中流域】

昨年度に比べ、種数で1種、個体数で1,447羽増加した（右図）。この個体数の変化は、カルガモが569羽、コガモが566羽、マガモが294羽それぞれ増加したことによく起因している。

当調査地の記録個体数は、平成2年度をピークに減少傾向にあり、昨年度に比べ増加したものの、今年度も減少傾向にあるものとみられる。また、記録種数も減少する傾向にあり、その変化が注目される。

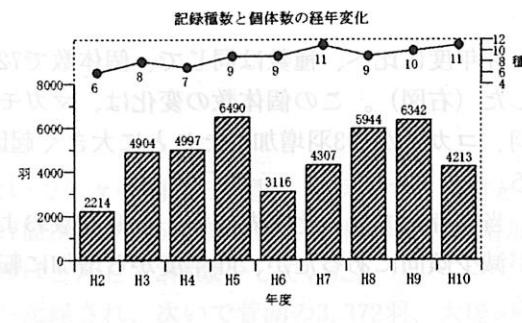


【日野川】

昨年度に比べ、種数で1種増加し、個体数で2,129羽減少した（右図）。この個体数の変化は、マガモが1,530羽、ヒドリガモが779羽減少したことによく起因している。これは、秋の台風による洪水でヤナギ類が流出したため、環境が大きく変化したことが、主な原因と考えられる。

当調査地の記録個体数は、平成7年度以降、全調査地のなかで最も多くの記録を継続している。また、コハクチョウが平成6年度より4年連続して記録されていたが、本年度は、12月には観察されたものの、今回の調査では確認されなかった。

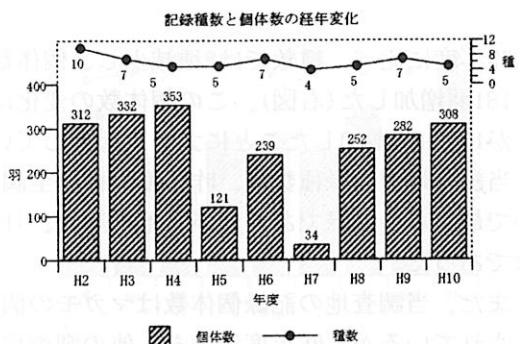
なお、当調査地では、カモ類の生息場所がヨシ原の多い鯖江市西部に移る傾向にあり、ここでの環境面での保全が望まれる。



【猪ヶ池】

昨年度に比べ、種数で2種減少したが、個体数では26羽増加した（右図）。この個体数の変化は、カルガモが40羽増加したことによく起因している。

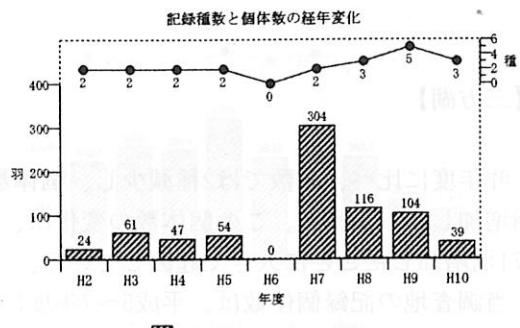
当調査地では、平成7年度に記録種数と個体数が減少したが、平成8年度以降増加する傾向にある。しかし、オシドリの記録個体数は、平成8年度には56羽記録されたにもかかわらず、昨年度は、10羽、本年度は、4羽の記録しかなかった。この原因については不明である。



【阿原ヶ池】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で65羽減少した（右図）。コガモが41羽減少したことに大きく起因している。また、オシドリは、昨年度に引き続き本年度も記録された。

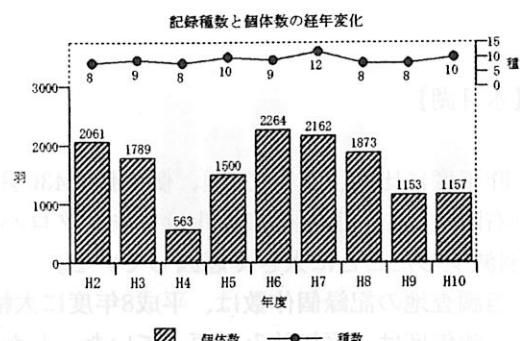
当調査地は、湿地内に木道が新設され、観察がしやすくなったため、記録種数の増加が期待されるが、積雪の影響を大きく受けるため、記録個体数は不安定なものとなっている。



【久々子湖】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で4羽増加した（右図）。この個体数の変化は、ホシハジロが57羽、キンクロハジロが46羽、マガモが24羽それぞれ減少したが、平成8、9年度に記録されなかつたスズガモが、84羽も記録されたことに起因している。

当調査地の記録個体数は、平成7年度から3年連続して減少し、本年度は、横滑りとなった。周辺の開発が三方五湖の各湖で進んでいることから、その因果関係を含め個体数の変化が注目される。



【菅 湖】

沿岸干潟の渡来地と越冬地

昨年度に比べ、種数では2種減少し、個体数では1,181羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが1,169羽増加したことに大きく起因している。

当調査地の記録種数は、昨年度同様、全調査地のなかで最も多い記録であったが、本年度は、日野川と同数であった。

また、当調査地の記録個体数はマガモの個体数に左右されているが、昨年度に続き、他の調査地と同様、ホシハジロ、キンクロハジロが減少した。スズガモについては、当調査地では昨年度に続き大きく減少したが、県全体では増加している。本県での海ガモ類の主な渡来地は三方五湖であるので、その個体数の変化が今後注目される。

【九頭山湖】

沿岸干潟の渡来地と越冬地

【三方湖】

沿岸干潟の渡来地と越冬地

昨年度に比べ、種数では2種減少し、個体数では445羽増加した(右図)。この個体数の変化は、コガモが571羽増加したことに大きく起因している。

当調査地の記録個体数は、平成5~7年度にかけて増加傾向にあったが、昨年度は、大幅に減少し、本年度は、大きく戻している。しかし、海ガモ類の個体数は2年続けて減少した。

【日野川】

沿岸干潟の渡来地と越冬地

【水月湖】

沿岸干潟の渡来地と越冬地

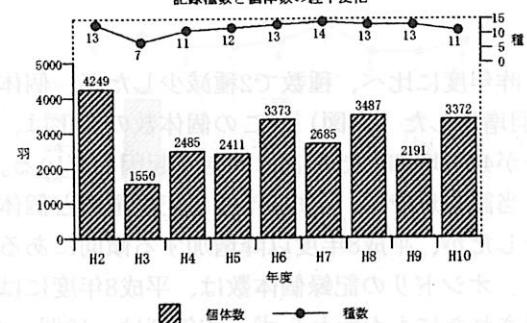
昨年度に比べ、種数で1種、個体数で430羽減少した(右図)。この個体数の変化は、キンクロハジロが208羽減少したことに大きく起因している。

当調査地の記録個体数は、平成8年度に大幅に増加し、昨年度は、平年並みに戻っていた。しかし、本年度は、昭和61年度以降最低の記録となった。今後の変化が注目される。

昨年度は、12月には観察されたものの、今回のみ記録されなかった。当調査地では、カモ類の生息場所が少ないので、今後も記録が上がることは想定される。

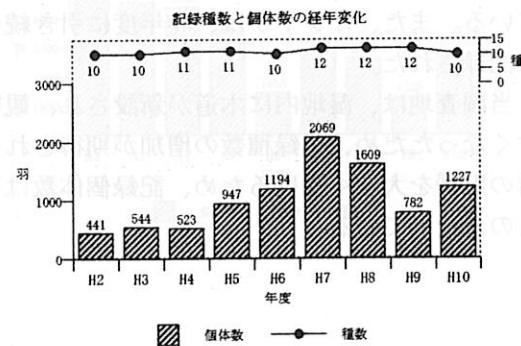
【唐 や 鶴】

記録種数と個体数の経年変化



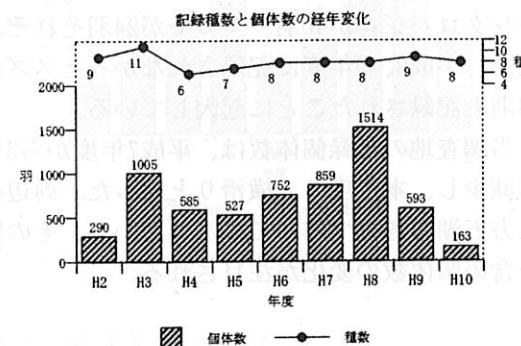
【唐 や 鶴】

記録種数と個体数の経年変化



【唐 や 鶴】

記録種数と個体数の経年変化

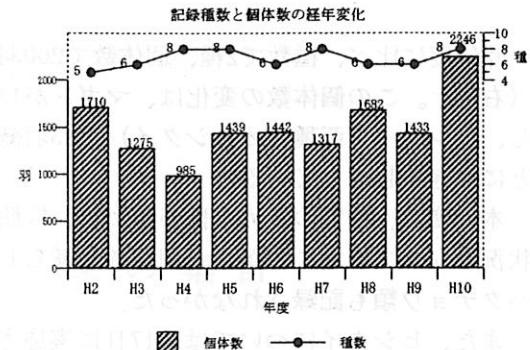


【小浜湾】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で813羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガモが528羽、スズガモが199羽増加したことによく起因している。

当調査地の記録個体数は、多少の変動はあるが1,500羽前後で比較的安定しており、本年度は、昭和61年度以降最高の確認となった。

なお、当調査地でも、ホシハジロが減少した。

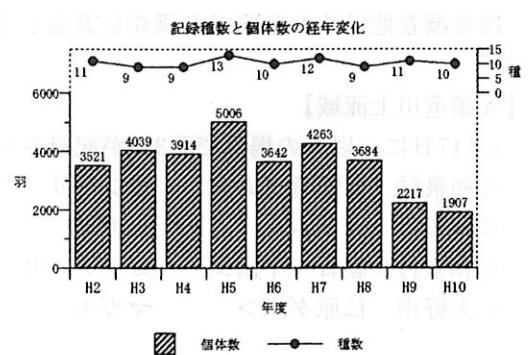


【足羽川】

昨年度に比べ、種数で1種、個体数で310羽減少した（右図）。この個体数の変化は、マガモが274羽減少したことによく起因している。

当調査地は、平成7年度以前も野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われている。その結果も含めると、記録個体数は、平成5年度以降減少傾向にあり、本年度は、最も少なかった。

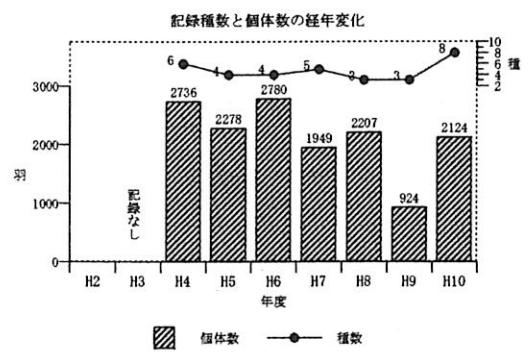
また、当調査地はハシビロガモやカワアイサの県内の主要な渡来地になっており、本年度は、ハシビロガモの減少傾向が見られた。今後の変化が注目される。



【福井新港】

昨年度に比べ、種数で5種、個体数で1,200羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガモが1,024羽増加したことによく起因している。

当調査地は、平成7年度以前も野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われている。その結果も含めると、昨年度は、調査当日の強い風雨のために多くのガンカモ類が別の場所へ移動して少ない記録個体数であったが、本年度は、平年並みに戻っていた。



【坂井平野】

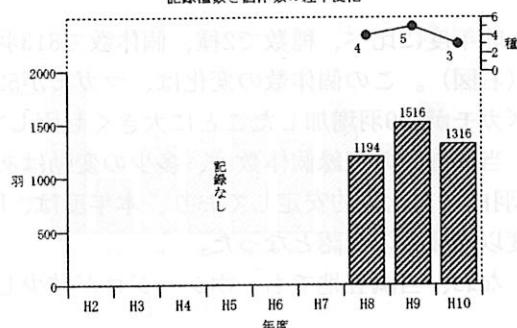
北東平野の調査地と記録種類

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で200羽減少した（右図）。この個体数の変化は、マガンが139羽減少し、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）が43羽減少したことによく起因している。

本年度は、積雪のため水田が覆われ、採餌できない状況となっていたことから、個体数を減らしており、ハクチョウ類も記録されなかった。

また、ヒシクイについては、17日に実施された九頭竜川河口流域とダブルカウントとなったため、実際に個体数は増加しておらず、昨年度とほぼ同数の飛来数と考えられる。

【調査結果】



指定調査地以外の地域でも調査を実施したので、記録を参考までに掲げておく。

【九頭竜川上流域】

1月17日に、以下の場所で計3種が記録され、中でも計33羽のカワアイサが記録された。

<和泉村 九頭竜ダム> オシドリ 1羽, カワアイサ 16羽

<和泉村 鷺ダム> マガモ 9羽, カワアイサ 4羽

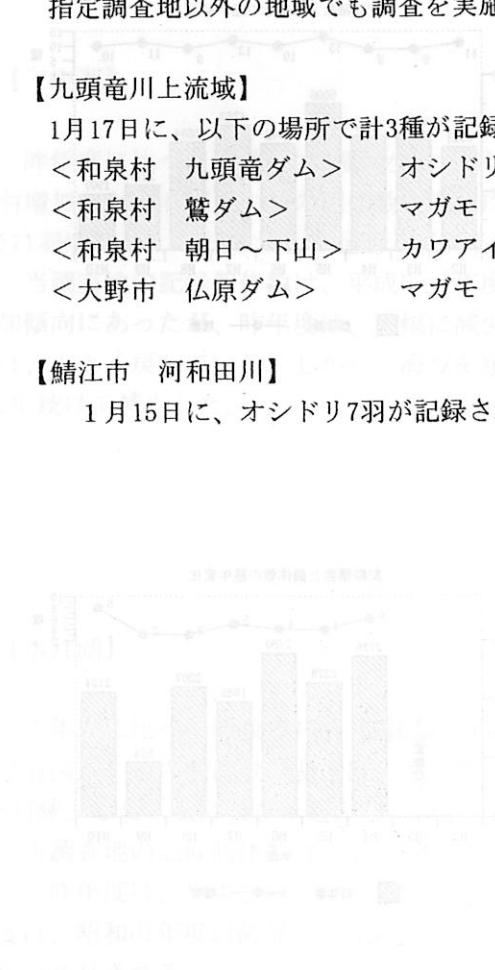
<和泉村 朝日～下山> カワアイサ 8羽

<大野市 仏原ダム> マガモ 15羽, カワアイサ 5羽

【鯖江市 河和田川】

1月15日に、オシドリ7羽が記録された。

【調査結果】



3. ガンカモ科以外の鳥類

ガンカモ科の鳥類以外に、計9目25科65種が記録された（第2表）

4. 過去における結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降、福井県内で実施された調査資料を年度別に集計し、対比し参考とする（第3表、第3図）。

ガンカモ科鳥類生息調査事業実施要領

1. 目的

本事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣保護行政に資するため実施する。

2. 調査実施者

本事業は、日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

3. 調査地

(調査地は、別紙参照で省略する)

4. 調査方法

調査は、それぞれの調査地に定点及びルートを設けて、その地域に生息するガンカモ科鳥類の種類別渡來数及び生息状況等について行うものとする。

5. 調査期日

平成11年1月15日(金)とする。ただし、天候または調査員の都合により同日における調査が不可能な場合は、1月15日から17日の間に実施して差し支えない。

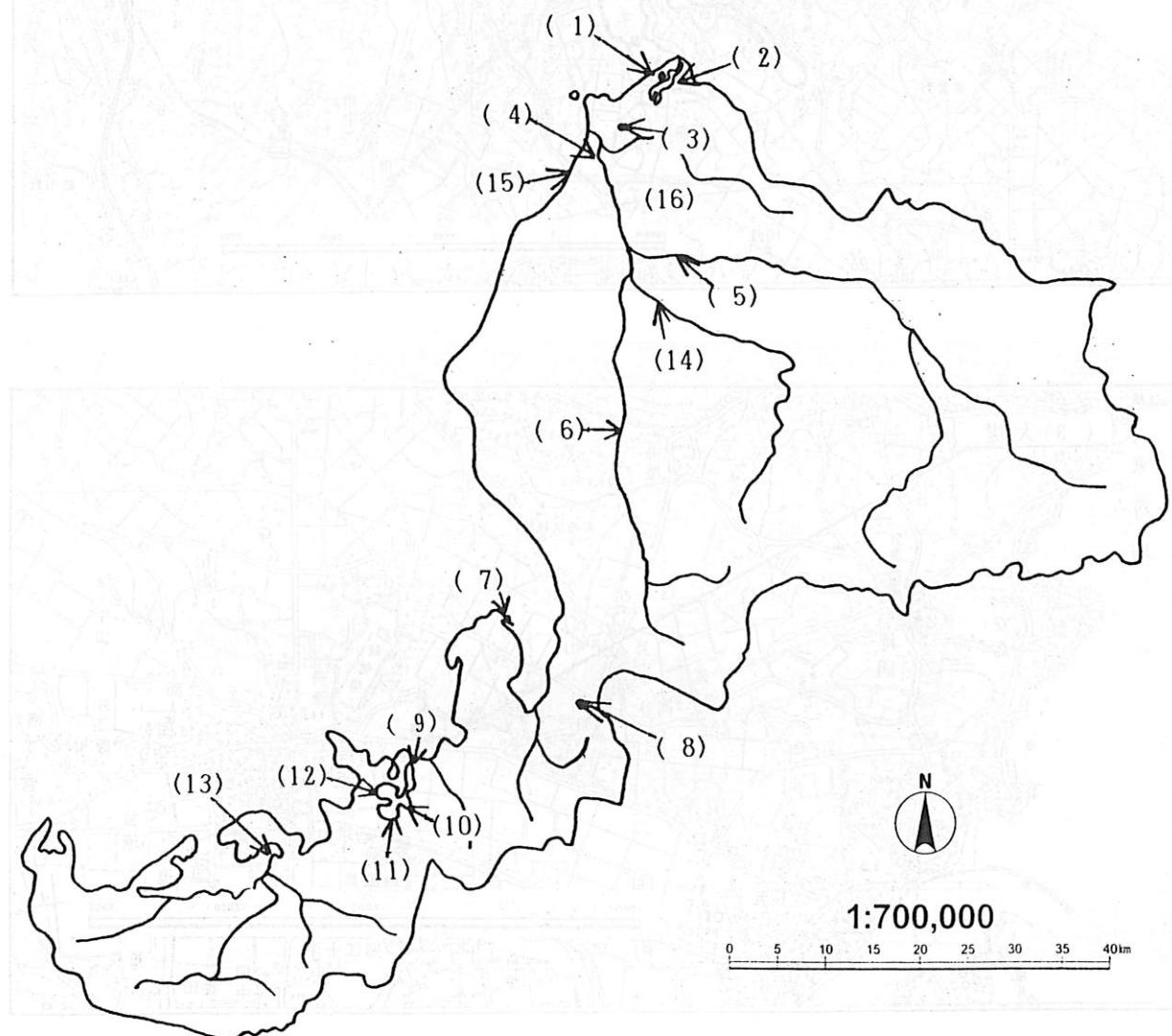
調査時間帯は、ガンカモ科鳥類の渡來数の最も安定する午前中とする。

第6項、7項については省略する。

第1図

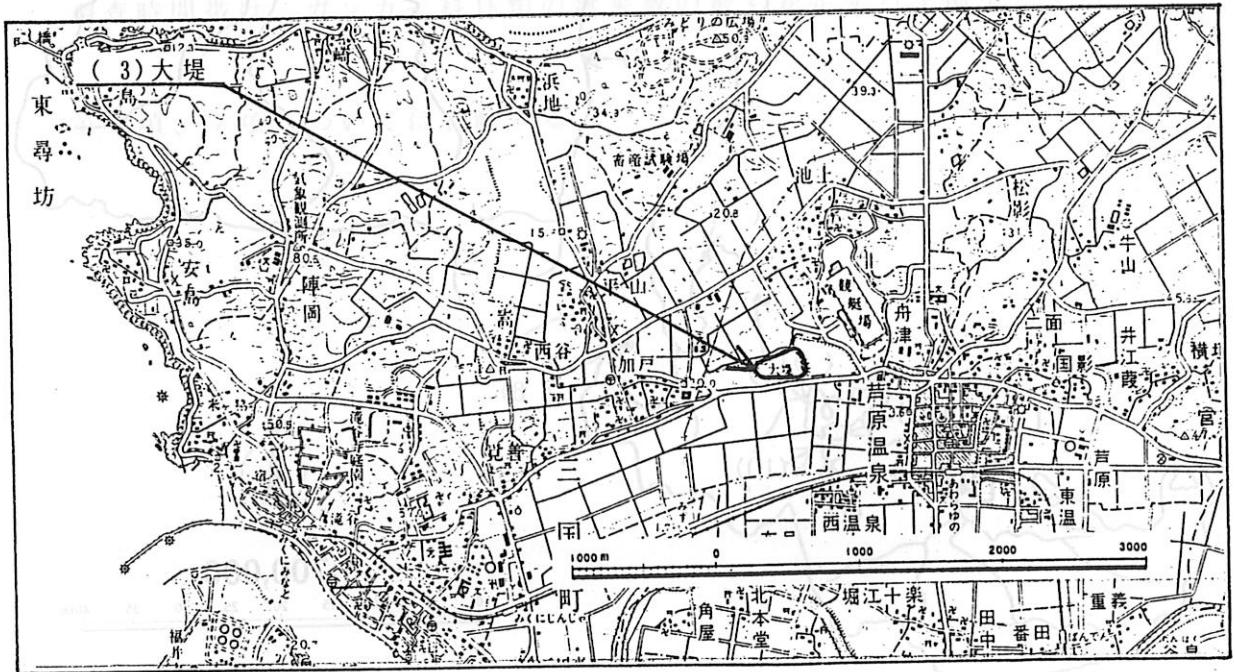
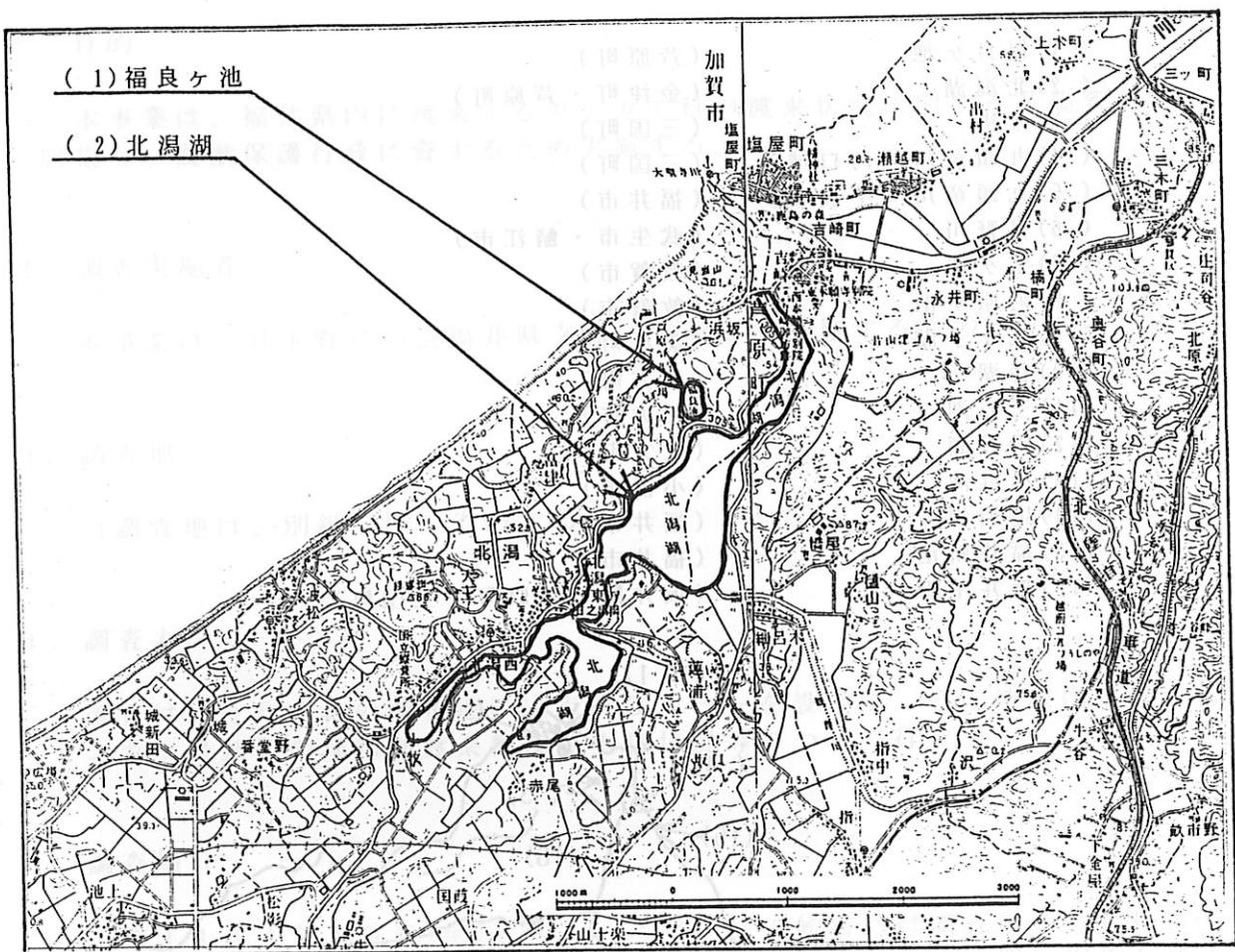
平成10年度 ガンカモ科鳥類生息調査地

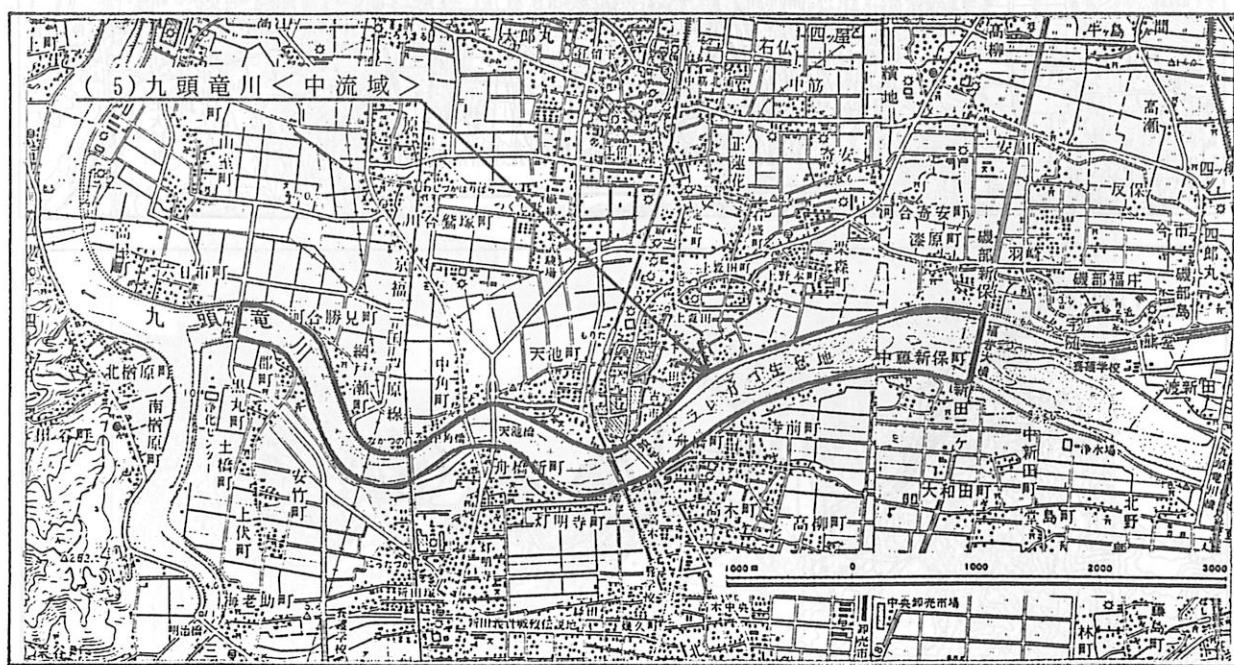
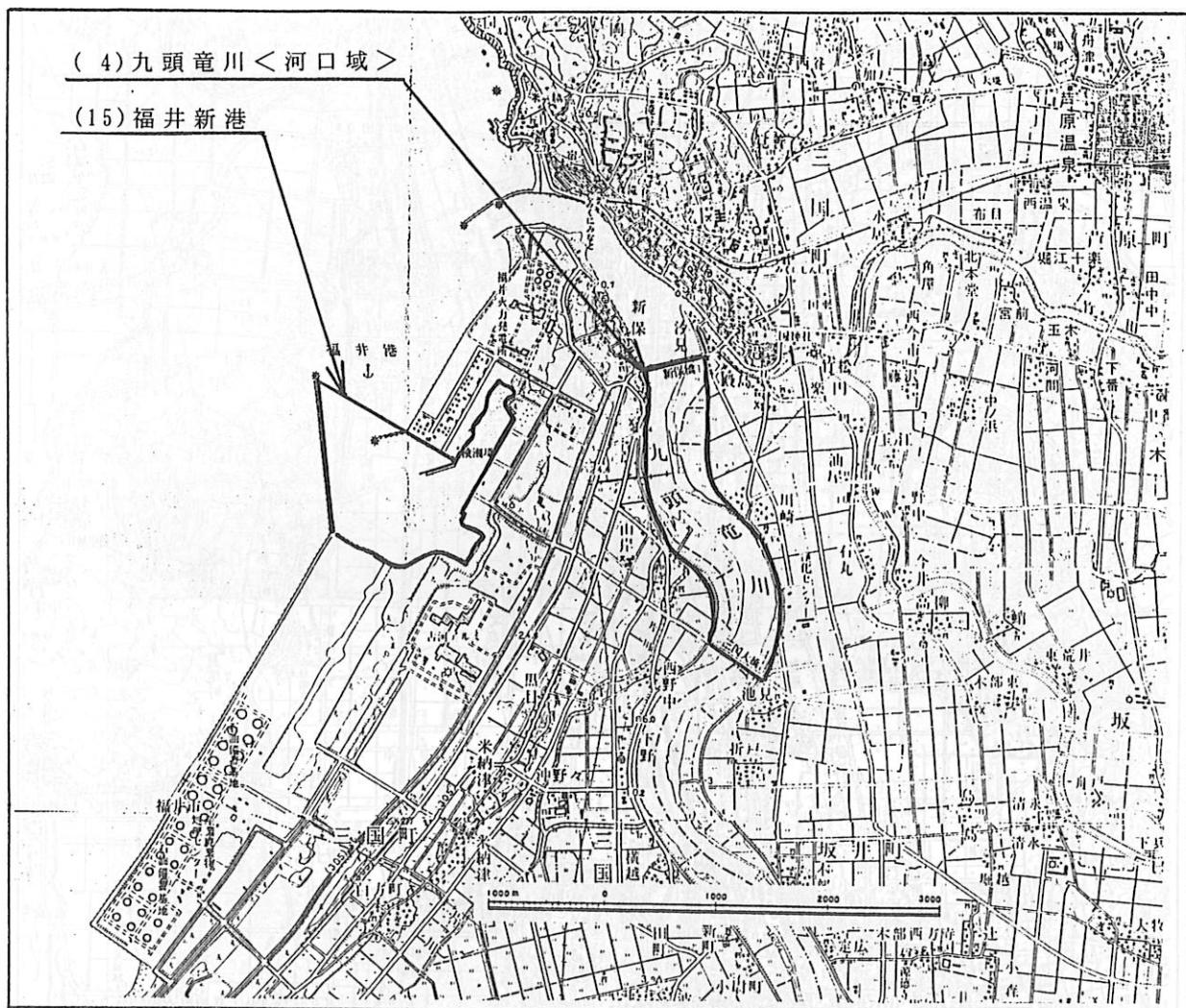
- | | |
|--------------|---------------|
| (1)福良ヶ池 | (芦原町) |
| (2)北潟湖 | (金津町・芦原町) |
| (3)大堤 | (三国町) |
| (4)九頭竜川<河口域> | (三国町) |
| (5)九頭竜川<中流域> | (福井市) |
| (6)日野川 | (武生市・鯖江市) |
| (7)猪ヶ池 | (敦賀市) |
| (8)阿原ヶ池 | (敦賀市) |
| (9)久々子湖 | (美浜町) |
| (10)菅湖 | (三方町) |
| (11)三方湖 | (三方町) |
| (12)水月湖 | (三方町) |
| (13)小浜湾 | (小浜市) |
| (14)足羽川 | (福井市) |
| (15)福井新港 | (福井市) |
| (16)坂井平野 | (坂井町・芦原町・三国町) |

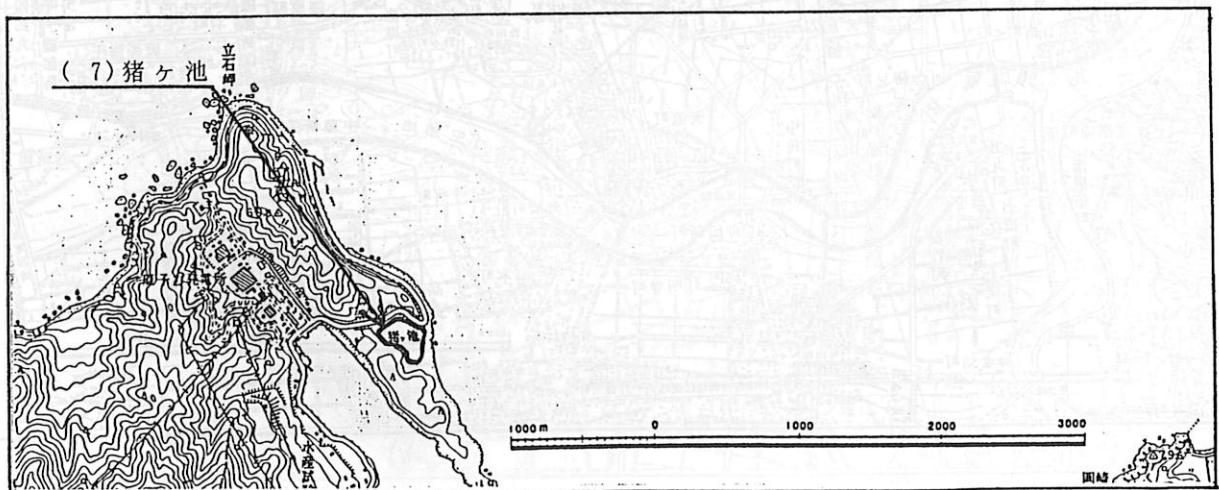
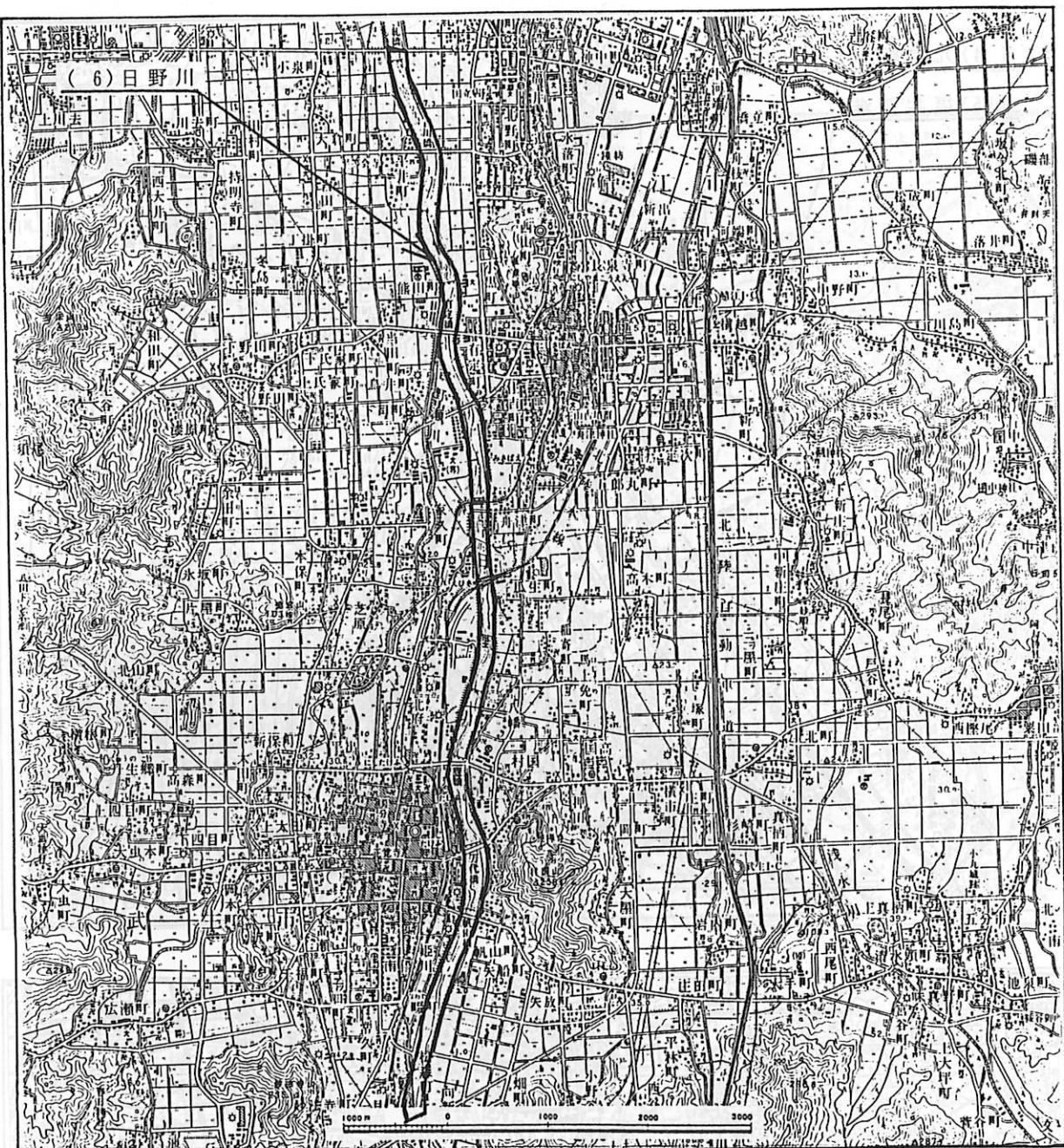


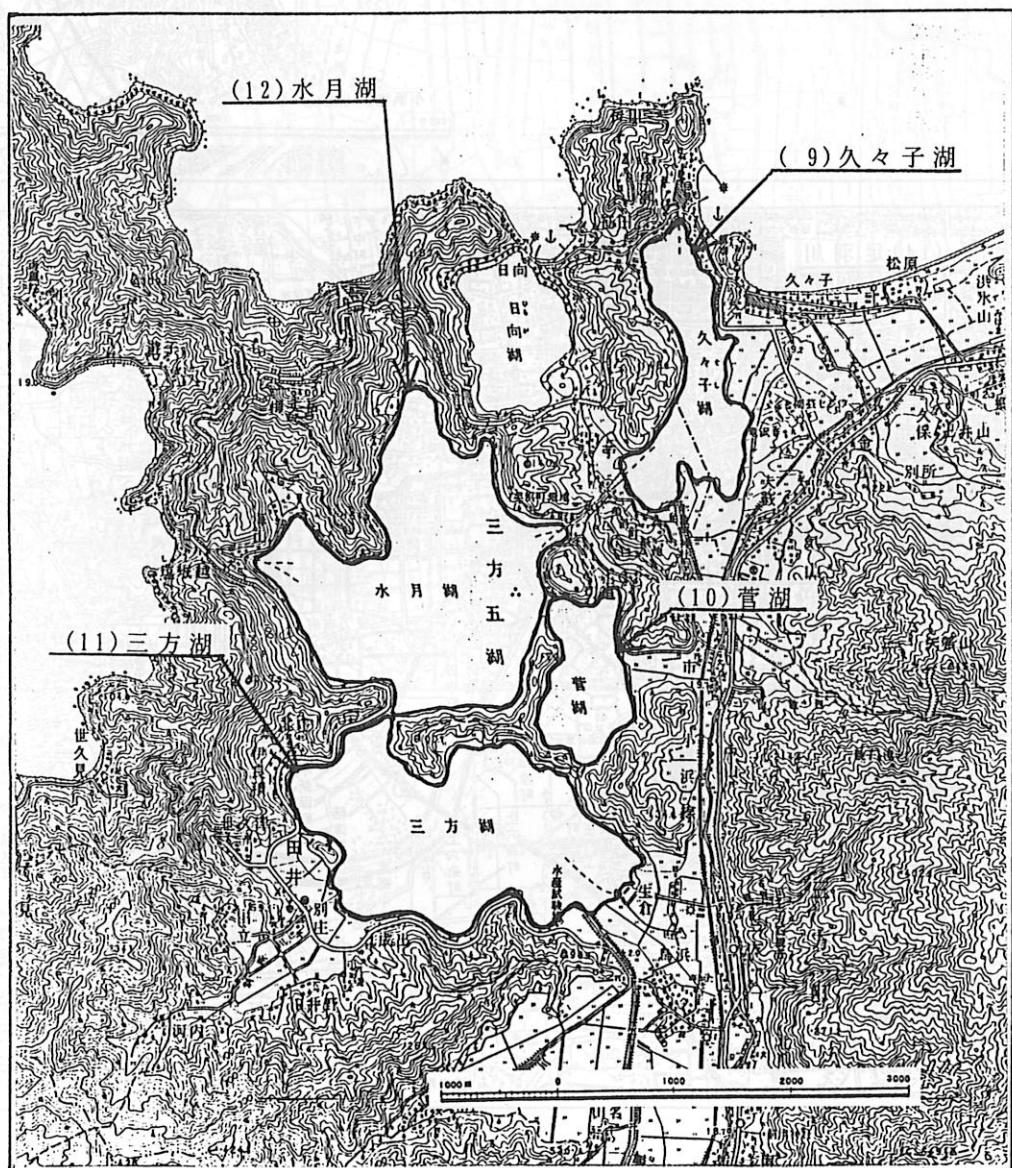
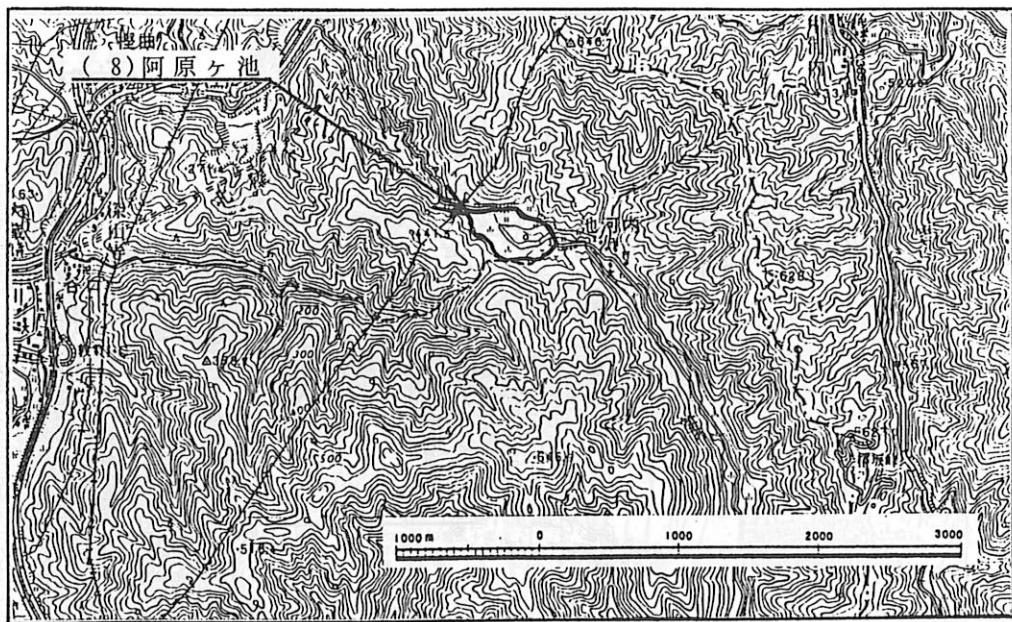
第2図

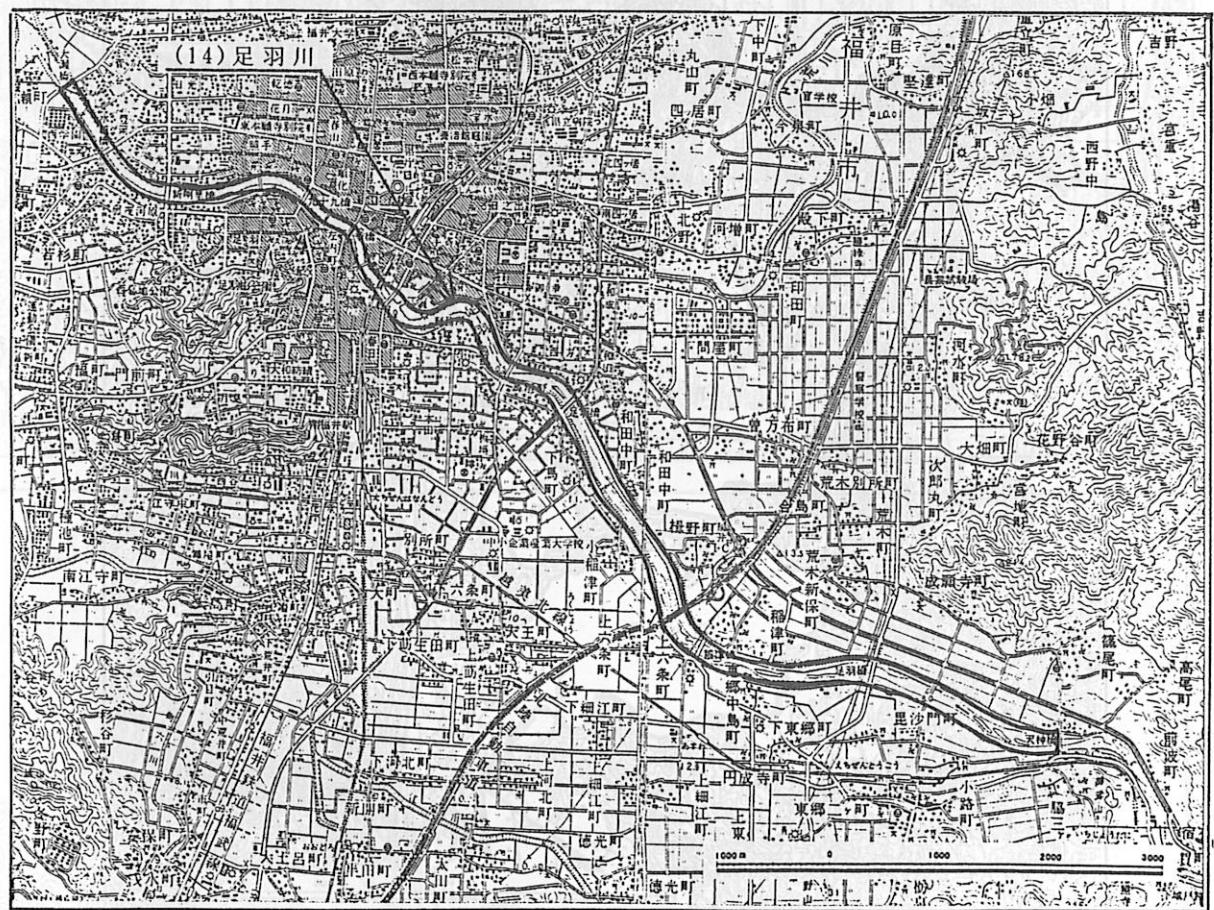
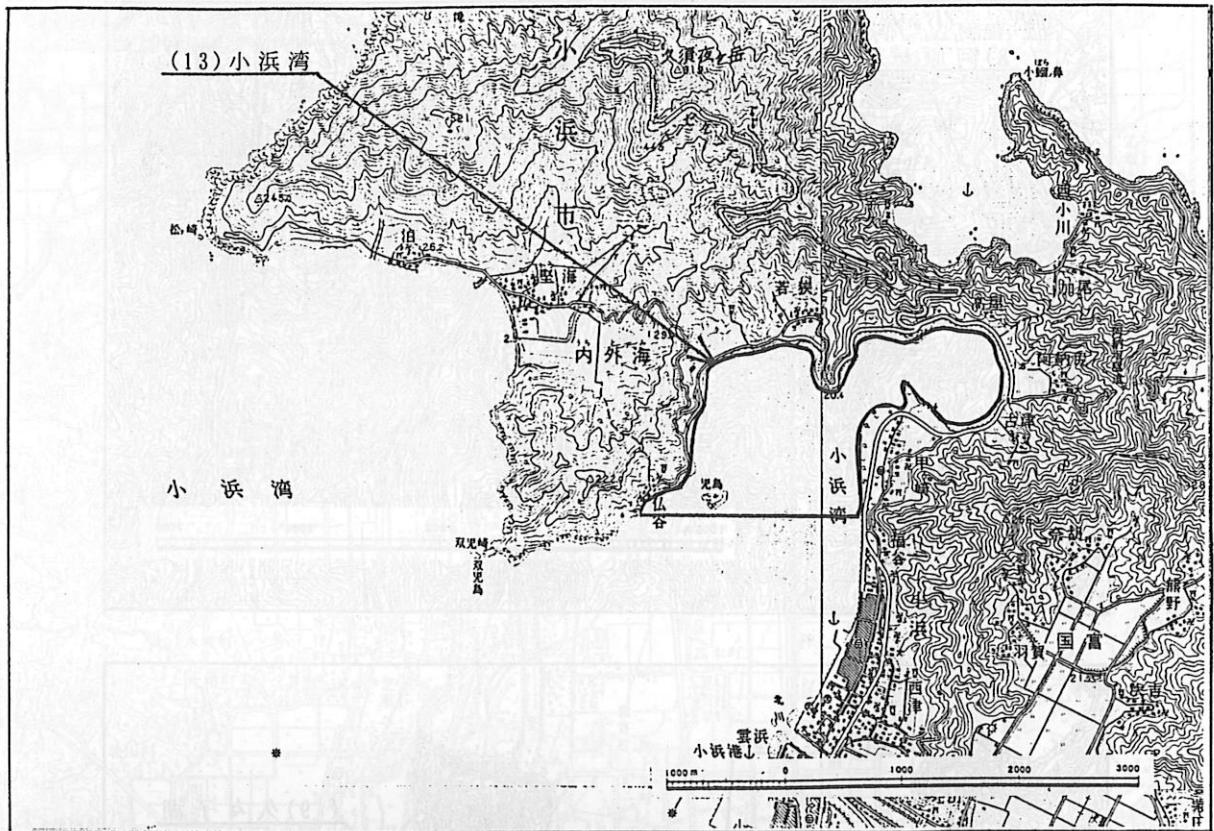
調査地地図



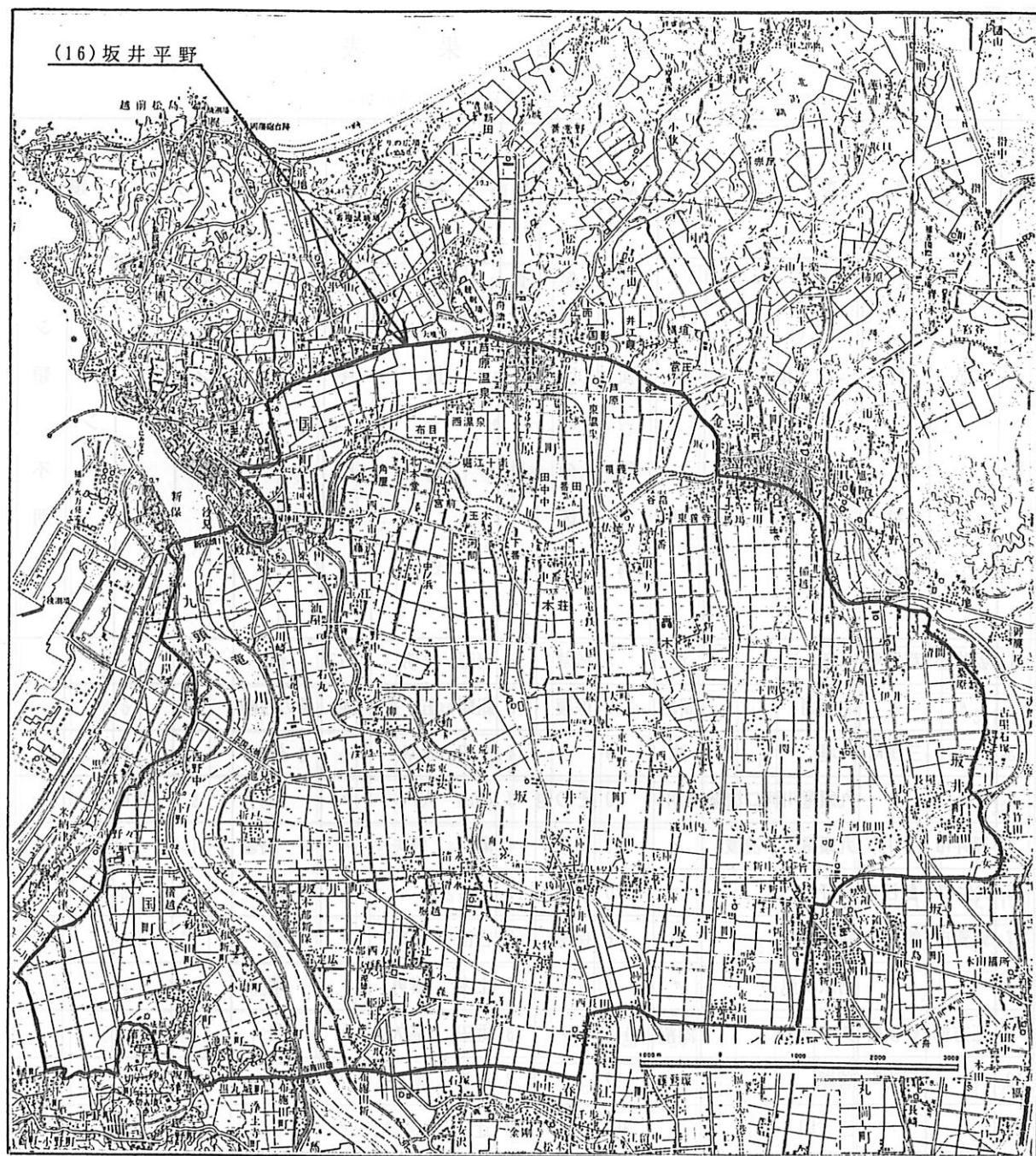








(16) 坂井平野



第1表

調査結果表

番号	調査地				調査面積ha	鳥獣保護区等の区分	調査員	調査月代	天候	ガン類			
	郡市	町村	地名	地況						マガニ	ヒシクイ	ハクガ	ガン類
1	坂井郡	芦原町	福良ヶ池	池	3	銃禁	4 河野 文明	1/17	曇				
2	"	"	北潟湖	湖沼	230	保護	3 組頭 五十夫	"	曇のち晴	20			
3	"	三国町	大堤	池	9	"	4 土田 孝幸	"	曇				
4	"	"	九頭竜川河口流域	河川	20	その他	3 横山 大八	"	曇			297	
5	福井市	福井市	九頭竜川中流域	"	307	保護	4 瀬戸 靖夫	"	晴一時曇				
6	武生市・鯖江市	日野川	"	220	銃禁	11 納村 力	"	曇					
7	敦賀市	敦賀市	猪ヶ池	池	6	保護	3 吉田 一朗	"	曇				
8	"	"	阿原ヶ池	"	8	"	3 上木 泰男	"	晴				
9	三方郡	美浜町	久々子湖	湖沼	140	"	3 堀田 高久	"	曇				
10	"	三方町	菅湖	"	92	"	3 小嶋 明男	"	曇				
11	"	"	三方湖	"	358	"	3 辻 義次	"	曇				
12	"	"	水月湖	"	423	"	3 堀田 雅貴	"	曇				
13	小浜市	小浜市	小浜湾	海面	650	銃禁	3 井尻 雅己	"	曇				
14	福井市	福井市	足羽川	河川	100	"	4 柳町 邦光	"	曇のち晴				
15	"	"	福井新港	海面	140	"	3 鈴川 文夫	"	曇				
16	坂井郡	坂井町	坂井平野	平野	7,200	その他	10 柳町 邦光	1/10	曇	1,061	250	1	4
合 計				9,906		67				1,081	547	1	4

内訳	鳥獣保護区	9ヶ所
	銃獣禁止区	5ヶ所
	その他	2ヶ所

(平成10年度ガモ科鳥類生息調査 実施日 平成11年1月10日、17日)

カモ類																	合計	
オ シ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	コ ガ モ	ト エ ガ モ	ヨ ガ モ	オ ガ モ	ヒ ガ モ	オ ガ モ	ハ ガ モ	ホ ガ モ	キ ガ モ	ス ガ モ	ホ ガ モ	ミ ジ ロ	カ ア ガ	ウ イ サ	(種数) (羽数)	
		7												2			2	9
	1,816	690	5	18		586					2		2	10			9	3,149
	2,400		712	2	4		4	24						8			7	3,154
	2	2	5														4	306
	1,146	941	649		28	3	1							5			7	2,773
	2,593	297	960	8	4		215	116	6				2	5	7		11	4,213
4	249	30									21			4			5	308
2	4		33														3	39
	220	156	12		4	13			236	423	84	4	5				10	1,157
	3,020		48	2	6	250	22		6	10	5	1	2				11	3,372
	261	118	614		5	83			19	91	6	16	14				10	1,227
	98				5	7				23	26	1	2		1		8	163
	1,757	144	34		1	40		2	21		247						8	2,246
4	837	454	224			192	148	21	4				2	21			10	1,907
	1,126	154	2	1	1	837	2		1								8	2,124
																	3	1,316
10	15,536	2,986	3,298	13	27	49	2,230	313	29	287	570	368	26	54	33	1	20	27,463

第2表

ガンカモ科以外の鳥類

番号	場所 種名	福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	合計
1	カツブリ	3	7			3		20	5		3	2	6	5	1	8		63
2	ハシロカツブリ		11								9	103	4					127
3	カンムリカツブリ		19			9	4				13	9	24	184	12	2		276
4	ミミカツブリ										2			1	2			5
5	カワウ	3		13	3	23	18			23	5	1		18	8			115
6	ウミウ															2		2
7	グイドリ						3	13								1		17
8	コサギ		7								2	1			1			11
9	アオサギ		6			6	20	6			2	3	1	1	9			54
10	ミサゴ		3											1		1		5
11	ヒ	2		2	6	7	2	4	11	4	15	5	1	17	2		78	
12	オジロヅシ										1							1
13	オホカ		1			1	3								1			6
14	ノスリ				1	3	3	1			1				1			10
15	ハヤブサ													1				1
16	チヨウケンボウ				2													2
17	キジ						2	8								2		12
18	バシ											1			1			2
19	オバシ								1									1
20	カツチトリ														4			4
21	クリ	2													1			3
22	タグリ					5	9								1			15
23	タシキ						1											1
24	イソジ					1								4	3			8
25	ヨリカモメ	10																10
26	セガロカモメ							6		14			1	1				22
27	オセガロカモメ									3								3
28	カヌメ		5	10						9	4		18		1	2		49
29	ウミネコ							1		27				1		1		30
30	キジバト			19	29	1	1			1	1			2	8			62
31	トバト													1				1
32	カワセミ						2								5			7
33	アオベラ								1									2
34	コベラ							1	2		1							4
35	セガロセキレイ	5		2	15		2			2	5		1	7	1	1		40
36	ハクセキレイ				4											1		5
37	セキレイ				1													1
38	タヒバリ										4							4
39	ヒヨドリ					2	5	2	16		3	8	1	1	13			51
40	モズ			1	4	2					1	3	1	2	6			20
41	シロハラ					2		4	8		1	3		4	2			24
42	ツグミ	6	14	24	31	1	10	4	3	5	2	8	12	1	1		122	
43	トラツグミ								1									1
44	イルヒヨドリ													3				3
45	ショウビタキ	1			1	2					1			2	4			11
46	ウグイス					3					1	2						6
47	オナガ					10	5	6			6		2	1				30
48	ヤマガラ							2	1	2		2	3					5
49	シジュウカラ						2	1	2		3		1	1				10
50	メジロ						2	1			4	8						15

番号	種名	場所		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	合計
51	ホオジロ				3			1	3					3	5		1	6		22
52	カシラクガ							7		1							1	4		13
53	アオジ				2					2	2			2				1		9
54	オオジユリン								1	1										2
55	カワラヒツリ					10												24		34
56	ベニマシコ																1			1
57	アトリ								1											1
58	シメ																1			1
59	ウツリ									1				1						2
60	スズメ					65	18	63				13	5	15	30	1	36	5	1	252
61	ムクドリ					57	29	29									40		1	156
62	カケス										1		1			1				3
63	オナガ				5															5
64	ハシボソガラス			3			1	15	18	1	1	2	3	10	3	1	12			70
65	ハシブトガラス							5	6	2	3	7			12	1		2		38
	タカ s.p.																1			1
	合計			6	87	14	205	213	294	45	51	134	85	222	271	76	240	19	4	1,966

第3表

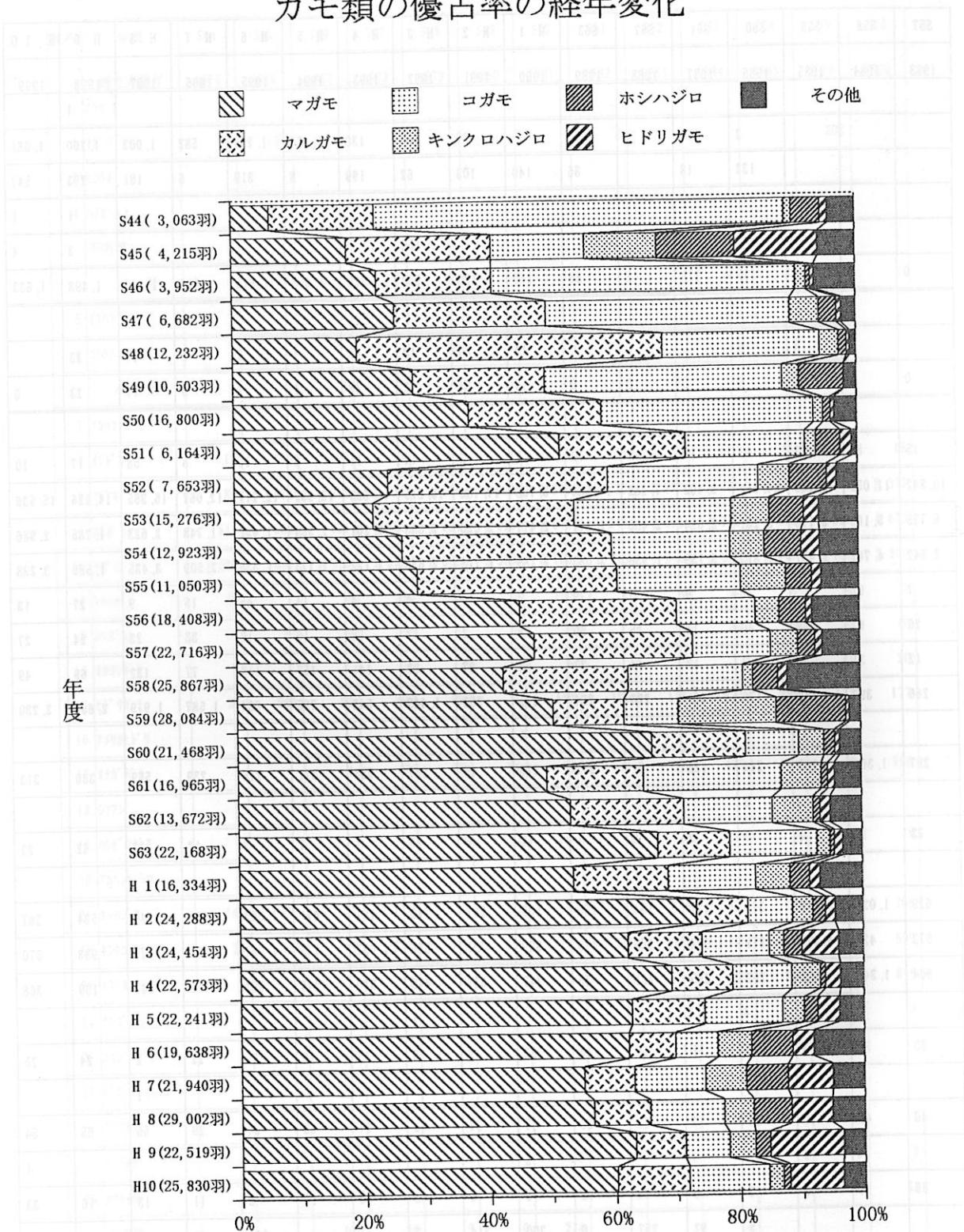
ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

種名	年度	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56
		調査実施年	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986
1 コガン														
2 マガソ			130						8				203	
3 ヒクイ														
4 ハカガソ														
不明種						58						30		1
小計		0	130	0	0	58	0	0	8	0	30	0	203	1
5 オハツチヨウ														
6 コハツチヨウ		4				1								
小計		4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7 アカツシガモ								1						
8 オトリ		18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	18
9 マガモ		187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	8,375
10 カガモ		516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	4,629
11 コガモ		2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	2,320
12 トモガモ		60		2	19	25	3	100	1	4	18	9	14	6
13 シガモ		57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75	40
14 オコシガモ					3			4		2			12	20
15 ヒドリガモ		37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	177
16 アメリカヒドリ														
17 オカガガモ				1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	560
18 シマジ														
19 ハシビロガモ					2	3	92	115	5	2	18	5	9	19
20 アカハシビロ			1											
21 オシジロ		141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	786
22 キンクロハジロ		35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807	699
23 スズガモ					12	10			4	98	195	120	387	616
24 クロガモ										3	6		7	3
25 オオシロガモ				1			5	3	1	47	21	32	24	32
26 ピロードキンクロ														
27 ミコアササギ				19	3	2	22	35	1	26	66	35	44	43
28 ウミアササギ								6		2	4	2	9	2
29 カモアササギ			1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	63
不明種				100	30	9	10	214			3			
小計		3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050	18,408
合計		3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253	18,409
備考	調査箇所	6	12	12	16	14	11	14	9	9	13	12	12	11
	調査面積 ha	1,198	2,481	2,284	3,400	2,725	2,725	2,677	1,395	2,184	2,273	2,268	2,268	2,218
	調査人員	22	35	42	74	78	59	83	46	33	32	35	21	32

S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	
1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	
																1	
		2	260	2			87	720	130	1,650	1,295	582	1,003	1,200	1,081		
		133	18		86	140	103	62	199	8	319	6	181	293	547		
														1	1	1	
								150							3	4	
0	0	0	135	278	2	86	140	190	932	329	1,658	1,614	588	1,185	1,498	1,633	
		1	4				14	34	12	48	1	2	9	17	23		
0	0	1	4	0	0	0	14	34	12	48	1	2	9	17	23	0	
15	84	28	45	37	17	10	2	2	14	11	6	15	8	58	17	10	
10,842	11,059	14,232	14,254	8,402	7,282	14,884	8,758	17,780	15,215	15,620	13,957	12,217	12,067	16,385	14,226	15,536	
5,775	5,162	3,175	3,231	2,624	2,485	2,571	2,477	2,020	2,888	2,201	2,584	1,452	1,748	2,623	1,785	2,986	
2,842	4,762	2,457	1,815	3,739	1,936	3,083	2,289	1,718	2,633	2,122	2,773	1,335	2,509	3,435	1,589	3,298	
7	51		32	9	5	179		3	13	4	4	14	45	15	9	27	13
26	67	58	40	14	15	60	18	2	12	18	16	10	33	23	24	27	
12	31	9	7	12	14	27	55	27	83	141	157	112	77	132	69	49	
266	390	153	170	181	223	294	275	382	1,443	543	795	664	1,587	1,919	2,659	2,230	
							1										
297	1,368	115	244	135	71	272	278	49	247	254	371	216	239	559	330	313	
	1		2														
23	11	4	7	3	3	1	12	6	26	1	7	7	12	28	82	29	
					1												
629	1,028	3,144	374	177	154	150	509	501	712	191	471	1,303	1,466	1,740	534	287	
972	422	4,395	871	1,092	885	479	899	791	566	1,037	775	1,061	1,432	1,370	933	570	
904	1,349	182	262	355	221	73	347	631	479	310	246	603	652	649	139	368	
									1								
30	33	48	23	11	10	14	32	9	39	19	18	11	22	2	24	26	
													1				
40	45	40	84	77	81	53	67	37	72	67	38	24	29	56	65	54	
		2					2									1	
36	4	42	2	5	12	12	10	6	13	34	13	3	11	13	16	33	
			5	92	257	6	300	314	7			560	33				
22,716	25,867	28,084	21,468	16,965	13,672	22,168	16,334	24,288	24,454	22,573	22,241	19,638	21,940	29,002	22,519	25,830	
22,716	25,867	28,085	21,607	17,243	13,674	22,254	16,488	24,512	25,398	22,950	23,900	21,254	22,537	30,204	24,040	27,463	
11	11	11	11	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	16	16	16	
2,218	2,218	2,418	2,418	2,418	2,418	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	9,886	9,906	9,906	
36	53	47	52	59	58	45	45	59	62	59	54	55	52	96	84	67	

第3図

カモ類の優占率の経年変化



あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、数多くの成果を収めた。調査記録は保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

調査協力者

池宇納組	小酒鈴瀬谷	辻伸平	堀松門	横	崎野村頭嶋	井川戸口	山城田村前山	尻本崎野堀	木本田谷口	中田畠	田中町	田町田	木村上野藤水	井橋中田林川田	田野本間	泰	男力郎子	次彌代夫	文剛	憲忠	悦彦	大彦彦二	
								井榎川河	小佐須	高高谷	土畠	堀堀前柳吉	木村上野藤水	井橋中田林川田	田野本間	巳郎輔明子	子郎治一	幸二	敏貴	成光朗			
													上納久河	斎清瀬	高田成中	早堀牧	水山樂	宗き衣秀	繁喜浩喜	智統	繁吉	乗吉	準
																雅一大文	久慶一	雄浩	艶孝	武孝	雅邦一		
																男子二子夫	五十	男治夫	夫亮	栄次	美子久	幸也八	
																和竜紀	五明	敬文	靖治	真義	正幸	高俊孝大	

(順不同敬称略)

編集：(財)日本野鳥の会福井県支部

〒915-0801 福井県武生市家久町111-33

TEL 0778-21-3036(高橋方)

発行：福井県自然保護センター

〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2

TEL 0779-67-1655